

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
議 会		
非常事態・緊急事態と議会・議員 自治体議会は危機に対応できるのか	新川達郎 江藤俊昭	公人の友社
広報で差がつく議会力 市町村議会広報クリニック	芳野政明(編著) 吉村潔(編著)	中央文化社
社 会 ・ 福 祉		
地域福祉マネジメント 地域福祉と包括的支援体制	平野隆之	有斐閣
オンライン・ファースト コロナ禍で進展した情報社会を元に戻さないために	東京大学情報理工学系研 究科(編)	東京大学出版会
わ か や ま		
地方史研究の最前線 紀州・和歌山	和歌山地方史研究会(編)	清文堂
和歌山県の祭りと民俗	和歌山県民俗芸能保存協 会(編)	東方出版
各 種 デ ー タ		
文部科学白書 令和元年度	文部科学省	株式会社サンワ

初めての陶芸



昨年、やってみたいと思っていた陶芸を初めて体験することができました。きっかけは、市の広報誌で募集していたスポーツや文化を手軽に体験できる講座です。

陶芸のイメージと言えば、ろくろを回して作る方法を真っ先に思い浮かべるかもしれませんが、私の参加した講座では、ひも状にした土を積み上げて作る方法、紙皿の形に土を添わせて作る方法、また、のし棒で土を伸ばして形を作る方法でした。先生の丁寧な手ほどきを受け、たくさん作りましたが、どれもなかなか思いどおりにはいかず、結果は写真のとおりです。1回あたり2時間、計6回の講座でしたが、童心に戻り、とても楽しい時間を過ごすことができました。

このような講座は、市内の各コミュニティセンターなどで開かれています。陶芸以外にも書道、水彩画、料理、ヨガ、英会話など、手軽に参加できて新しい趣味を見つけられそうなものがたくさんありますので、市の広報誌は要チェックですね。

さて、和歌山県には紀州の三大窯と称される窯があります。そこで作られたものは、それぞれ御庭焼、南紀男山焼、瑞芝焼と呼ばれています。

- ・御庭焼(借楽園焼など)・・・お殿様が御殿のお庭で作陶して生み出されたもの
- ・南紀男山焼・・・崎山利兵衛が藩の援助を受けて開窯し作られたもの
- ・瑞芝焼・・・藩の許可を受け阪上重次郎が城下鈴丸に開窯し作られたもの

これらのうち瑞芝焼のみが、現在も作り続けられ、6代目の阪上重次郎が窯を守っているそうです。

今回、陶芸にチャレンジしたことで、これまで以上に陶器に対する興味が沸いてきたような気がします。まずは、市立博物館に南紀男山焼、瑞芝焼が展示されているそうなので、一度見に行ってみたいと思います。

何かにチャレンジしたい、新たな趣味を見つけたいと思っている方は、手軽に参加できる講座がおすすめです。

※参考資料:和歌山のやきもの、和歌山観光協会ホームページ

